

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者会 各位

《財団設立60周年企画》

いざ、名建築ミュージアム、三溪園へ！

重要文化財建造物・全10棟 一挙公開

三溪園の魅力は、季節ごとにさまざまな表情を見せてくれる折々の花や草木とあわせて、各所に散りばめられた価値の高い歴史的建造物にもあります。すなわち、三溪園は日本庭園であるとともに、室町中期から昭和期までの、住宅や茶室から寺院・城郭にゆかりの建築まで、バラエティー豊かな建物が見られる建築博物館としての顔も持っているのです。財団設立60周年を記念する今回は、特に貴重な重要文化財指定の10棟を一挙公開します。こうした一度にまとめた公開は、平成 21 (2009) 年の横浜開港 150 周年以来 4 年ぶりのこと。ハナショウブやアジサイなど初夏の花が彩る庭園をめぐりながら、多種多様な伝統的な日本建築の構造や意匠などを目の当たりにできる、またとない機会です。



臨春閣 りんしゅんかく

江戸時代初期・慶安 2 (1649) 年の建造とされ、桂離宮とともに江戸時代の数寄屋を代表する建築。内部には当時の美意識に裏打ちされた意匠がふんだんに散りばめられている。

旧燈明寺三重塔

きゅうとうみやうじさんじゅうのとう

室町時代中期・康正 3 (1457) 年の建造。旧燈明寺本堂とともに三溪園の歴史的建造物中最古のもので、園を象徴する建物。

丘上にたつその姿は園のほどこからでも眺められ、四季折々の花々との取り合わせにより、時季ごとに違った表情をみせる。写真の花は、6月が見ごろのハナショウブ。





期間：2013年6月8日(土)～6月16日(日)

時間：9:00～16:45(入場は16:30)

料金：入園料のみ

■公開建造物：

《寺院建築》

旧燈明寺三重塔(室町時代中期)

旧燈明寺本堂(室町時代中期)

旧天瑞寺寿塔覆堂(桃山時代)

旧東慶寺仏殿(江戸時代初期)

天授院(江戸時代初期)

《書院・数寄屋建築》

臨春閣(江戸時代初期)

月華殿(江戸時代初期)

聴秋閣(江戸時代初期)

春草廬(桃山時代)

《民家建築(合掌造り)》

旧矢筈原家住宅(江戸時代後期)

■香の演出

建物に関連した名のついた香の演出を、次のとおり公開期間中に行います。

建物と一体となった香りの風情をお楽しみいただきます。

場所と香名：

旧東慶寺仏殿 香名「元禄」 ※旧東慶寺仏殿は、江戸時代の建築。

旧燈明寺本堂 香名「室町」 ※旧燈明寺本堂は、室町時代の建築。

時間：9:30～16:00 ※旧燈明寺本堂は、6月10日(月)から開始。

協力：香老舗 松栄堂

■アジサイの苗木プレゼント

梅雨の季節にみずみずしい印象の花を見せてくれるアジサイの苗木を、ご来園の方に1,200名に、進呈します。

日時：6月8日(土)・9日(日)・15日(土)・16日(日) 10:30-・11:30-・14:00-・15:00-

進呈数：1,200本 1名様につき1本、各回先着75名様

会場：中央広場

■三溪園ボランティアによる自然観察会

昔のままの自然が豊かに残されている三溪園には、新緑のこの時期さまざまな種類の動植物が見られます。ふだん見過ごしてしまいがちなものを含めて紹介します。

日時：6月10日(月) 10:30-11:30

集合：内苑入口

定員：各回30名

参加費：無料 ※入園料は別途必要です。



国指定名勝 **三溪園**
記者発表資料

■花だより

ハナショウブ 6月上旬～6月中旬
アジサイ 6月上旬～6月下旬

■三溪園の施設案内

《所在地》三溪園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《交通アクセス》

- JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分、「本牧」バス停下車、徒歩 7 分
- 横浜駅東口から市営バスで 35 分、「本牧三溪園前」下車、徒歩 3 分
- 桜木町駅から市営バスで 25 分、「本牧三溪園前」下車、徒歩 3 分
- みなとみらい線元町中華街駅 4 番出口から市営バス（「山下町・タワー入口」）で 15 分、「本牧三溪園前」下車、徒歩 3 分

お問い合わせ：

三溪園 事業課 吉川、中島
〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1
TEL045-621-0634 / FAX045-621-6343
<http://www.sankeien.or.jp>